

～草竹コンクリート工業株式会社～



草竹コンクリート工業(株)
代表取締役社長
草竹晃司氏

会員企業訪問第15回目は、奈良市南京終(ミナキョウバテ)町に本社工場を持つ、草竹コンクリート工業(株)様をご訪問し、代表取締役社長 草竹晃司様にお話を伺いました。

同社は、昭和23年にセメント瓦、セメント製の流し台、防火水槽等のコンクリート製品製造会社として創業されました。

現在は、道路・水路・護岸・宅地・マンホール用、上下水道用仕切弁・消火栓ボックス、視覚障がい者誘導用等のプレキャストコンクリート製品を製造されておられます。

同社の強みは、製品開発、設計から型枠製作、金型加工、製造はもとより配送まで自社で一貫して行い、顧客の厳しい要求に短期間で応えられる技術力と特許・意匠・商標等の産業財産権を3000件以上取得されている創造力・開発力にあります。

コンクリート、金属、樹脂等のそれぞれの専門の技術者の方がお互いに意見を出し合い、より良い製品づくりに日々取り組まれておられます。

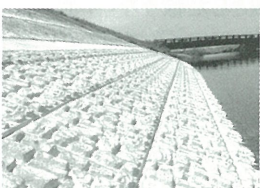
私達の身近にあってなじみ深いコンクリートは、セメント・水・骨材(砂・砂利)等を混ぜあわせ、セメントと水が反応して硬化することでできます。

冬場は型枠に流し入れた生コンクリートを蒸気の中で硬化を促進させ、型枠から外した後は、一定期間保管(養生)してから出荷されます。水や外気温が品質に大きく影響するとのこと。

現場で構造物を作るには、型枠組立て、生コンクリート調達、型枠外し、養生等で多くの労働力と時間が必要ですが、プレキャスト製品を使用することで、天候に左右されることがなく、組立・据付け等の作業で済むため、工期短縮、労働作業削減に繋がり、工事の合理化でトータルコストの削減が図れます。



道路排水用ブロック



護岸用ブロック

奈良市平清水町の奈良工場では、護岸土留用ブロック、踏切用ブロック、河川底用ブロック等の小型から大型の製品を製造しておられます。



降雨実験施設

敷地内にある、降雨実験施設では降雨強度100mm/hrの豪雨実験で、製品の排水性能の分析・検証が行われたり、品質検査室では、製品と同じコンクリートを使って圧縮・曲げ強度を検査し、徹底した品質管理を行っておられます。

養生中の製品や出荷を待つ何万個ものブロックが整然と並んでいる中、河川底に敷く5tの巨大ブロックや軌道踏切用ブロック等の大型製品と、それらを移送する15t門型クレーンの大きさがひととき目立っていました。

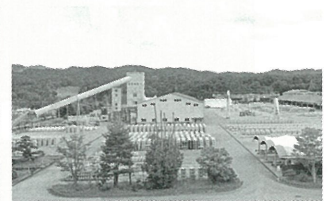
防災・治水・環境保全・福祉事業等工事に使用される多種多様なコンクリート製品の役割と機能を教えて頂き、同社の人の安全・安心と自然環境に役立つ製品づくりへの思いを実感致しました。

社長様からは、「社員には、仕事での夢とプライベートでの夢を持ち、両方の夢を必ず叶えるように話している。具体的かつリアルな目標を持って努力することで、大きく成長していける。自ら考え、自ら行動できる人材を育成することが企業にとって大変重要なことである。これからも、高品質・高機能な製品開発で社会に役立つ製品を開発していきたい。」

協会には、「奈良県全域の企業が加入しているという利点を活かし、他業種の企業が力を合わせて取り組んで行けるプロジェクトを奈良県と連携して企画して頂き、県内経済の活性化に繋げてほしい」とお話頂きました。



本社・工場



奈良工場

<企業情報>

会社名：草竹コンクリート工業株式会社

設立：昭和23年11月

住所：本社 〒630-8588

奈良市南京終町四丁目247

代表者：代表取締役社長 草竹晃司

社員数：110名